

創造性を備えた 戦略的な職員に

職員の資質向上と意識改革
一人ひとりが村の活性化を
担うことであります。

職員一人ひとりが村づく
り、地域活性化の担い手とし

市町村合併などへの対応姿勢として 住民の主体的意見で

皆さんに情報を 村の意見も集約

市町村合併の動きへの対応
合併特例法の期限を平成十
七年三月に控え、村の将来の
方向について、より具体的な
検討、議論を一層進めなけれ
ばなりません。

本村は、明治九年に堀内、
普代、黒崎が合併して現在の
普代村となっております。以
後、明治二十二年、昭和三十
年の大合併においても合併に
至らなかつたところであり、
産業構造やあらゆる分野から
検討を必要とする地域である
ことから、現在置かれている
久慈広域圏での一部事務組合
と久慈広域連合の統合を前提
とし、国や県の各種機関の動
向、県都へのアクセス、住民
の立場などを踏まえ、本年六

ての自覚を持ち、地方分権時
代にふさわしい柔軟な発想と
創造性を備えた戦略的な職員
となるよう一層の資質の向上
と意識改革を進めます。

本年も県本庁での職員の
実務研修を継続して参りま
す。

月頃までにはその方向を見い
ださなければならぬと考え
ております。

現在、「西尾私案」をたた
き台とし、国の地方制度調査
会や自民党プロジェクトチー
ムなどで基礎的自治体のあり



後期村政懇談会で市町村合併などについて皆さん
と話し合う深渡村長ら（後中央）（12/2・白井地区）



子どもらに夢ある未来を！
（6/29普代っ子チャレンジデーで）

方、小規模自治体のあり方な
どが検討されていて、間もな
くいろいろな方向付けがなさ
れるところでもあります。県
内や久慈広域圏内での議論も
活発化しておりますので、こ

れらを十分に検討しながら議
会、村民の皆さまに積極的に
情報提供し、村としての意見
集約を進めて参りたいと考え
ております。

本年二月に立ち上げました久

慈広域六市町村の担
当課長で構成する
「久慈地域市町村合
併に関する調査研究
会」、近隣村などと
の勉強会や「庁内市
町村合併等研究委員
会」で行財政、福祉
など、部門ごとに現
状分析や将来予測な
どの検討を行って
います。村民の皆さま
に情報提供し、村民一人ひとり
に真剣に議論いただくよう取り
進めたいとも考えております。



「地域資源を自ら活かし、自
立できる村づくり」に、村民
の皆さまと一緒に将来の村の
姿について、議論していきま
しょう。

村に誇りを持ち 未来を切り開く

平成十五年度の行財政運営
の方針と主な施策、予算編成
方針についてさせていただき
ました。予算概要や内容につ
きましては、簡単な説明で終
わらせていただきますが、国
が強行している行政改革、地
方分権、市町村合併の推進な
どにより地方公共団体は非常
に厳しい行財政運営を強いら
れております。

本村のこれまでの歴史をふ
り返り、先人たちが苦悩に苦悩
を重ね現在の普代村をつくり
あげたことに思いをはせれば、
私どもは、今こそ村民が丸と
なって立ち上がり、村に誇りを

共に汗を流し、勇気、元氣、
やる気をもって普代村の未来
を切り開いていくことが、私
どもに課せられた責務である
と深く認識し、精一杯努力し
て参る所存でございます。

議員の皆さまのより一層の
ご理解、ご協力と村民の皆さ
まの村づくりへの積極的な参
加を心からお願ひ申し上げます。
私の所信表明といたします。